

8

地域で受けつがれてきたもの

さあ、お祭りだ

ふじもり
藤守地区では、春が
近くなると大井八幡宮
で「田遊び」と言われ
るお祭りが行われます。



藤守の田遊び

たけるさんの家の近
所にある焼津神社では、
8月になると「荒祭
り」が二日間にわたっ
て行われます。



荒祭り

秋には、吉永八幡宮の「奴道中」、冬には、
弘徳院の「虚空蔵さんだるま市」など様々
なお祭りが行われています。



奴道中



虚空蔵さんだるま市

焼津にはいろいろな
お祭りがあるんだな。



せきがた
関方地区では、

「山の神祭り」が
地域の人々の手
によって昔から受け
つがれています。



山の神祭り

これらのお祭りはいつ始まったのかな

たけるさんは、お祭りについて、お父さんやおじいさんに聞いてみました。すると、おじいさんの生まれるずっと前からあったそうです。

くわしく知りたいと思い、たけるさんは焼津神社に行ってみることにしました。



焼津神社

また、近くにある「市立焼津図書館」や「歴史民俗資料館」でも、資料を探ることができました。

焼津神社のお祭りはいつごろからやってきたのかな。

いろいろな人に話を聞いて、お祭りがなぜ行われているのか知りたくなったな。



地域に伝わるお祭りには、そこに住む人々のどんな願いがこめられているのだろう。

自分の住む近くの神社のお祭りには、どんな願いがこめられているのかな。



① 地域で受けつがれてきたもの

(1) 焼津市の地域に伝わるお祭り

たけるさんは、焼津の「荒祭り」のことを調べていくうちにもっとお祭りのことが知りたくなり、近所に住む、祭りのことをくわしく知っているおじさんにインタビューすることになりました。

「荒祭り」にくわしいおじさんの話

焼津神社はれきしが古く、今から1600年前にたてられたと言われているんだ。8月12日と13日に「荒祭り」というお祭りがあり、にぎやかに行われるんだよ。

荒祭りの当日の12日には、「幟担ぎ」「神ころがし」からはじめられるんだ。「幟担ぎ」は、3年間「焼津神社」と書かれたはたを持ってお参りをし、元気のいい子に育つようにおいのりをするんだよ。その初めの年にやるのが「神ころがし」で大きな声でないた赤ちゃんほど元気に育つそうだよ。どちらも家族の願いがこめられた神事なんだよ。

13日は、「獅子木遣り」の行列が旧市内をめぐるたり、二つのみこしが「アンエットン」のかけ声でねり歩いたりして、お祭りはもりあがりを見せるんだよ。どれも古くから受けつがれた大切なお祭りの行事なんだよ。



獅子木遣り



神ころがし

たけるさんは、おじさんの話を聞いて、「獅子木遣り」に興味を持ちました。もっとくわしく知っている人がいないかたずねてみると、「獅子木遣り保存会」の長谷川さんをしょうかいしてくれました。さっそく電話をして長谷川さんに話を聞いてみることにしました。

「獅子木遣り保存会」長谷川さんの話

獅子木遣りは今から100年ほど前から焼津に受けつがれてきたでんとう行事の一つで、二頭の獅子を持って、木遣り歌を歌いながらまちをねり歩く行事なんだよ。昔は今のようにならぬ女の子がやるものではなく、青年やまちの芸子衆がやっていたんだ。それが今のような形になったんだよ。

獅子木遣りの練習は、小学校1年生から6年生までの子どもたちが集まって一週間集中てきにやるんだよ。本番は暑い中歩きながらやるから、練習もきびしいものになるんだ。

当日は朝から夕方まで休みをとりながら、10kmの道中を歌いながら歩くことになるんだ。夏の暑いときに行われるから、かなりきつい。このつらさを乗り越えて、はじめてまごぞく感をえることができるんだ。おじさんたちは、歌いながら子どもたちが成長していく様子を見るのがとても楽しみなんだよ。祭りが終わった時には、子どもたちが一回り大きくなったように見えるんだ。

おじさんの今のなやみは、なかなかあとをついでくれるわかい人がいないことなんだ。おじさんは、30年もやっているのだが、歌は口で伝えるため、楽しむがないんだよ。また、昔はお祭りの時もたくさんの方が見に来てくれたんだが、今は年々数もへってきているのが、とてもさみしいことなんだ。おじさんは、歩くことができるかぎりつづけていきたいと思っているんだよ。



獅子木遣りに参加する女の子



獅子木遣りの練習風景

長谷川さんのしょうかいで、祭りに参加した女の人や女の子にも、話を聞くことができました。そして祭りには、たくさんの方の思いがこめられていること、その思いがずっと受けつがれてきたことがわかりました。

「獅子の先頭を歩く」女の人のお話

子どもの時の襦袢から始まり、あこがれのどんぶりを着ることが、子どものころのゆめだったんだよ。今はこの服を着ることができて、とてもうれしく思っています。はじめは「お祭りはおとなのもの」だと思っていたけれど、獅子木遣りに参加することで自分たちもお祭りに役立っているのだと感じることができ、おとなに近づくことができたと思ったんだよ。また、お祭りは心を学ぶいい機会であると感じることができたんだ。

だから今でもお祭りの服を着ると、なんだかわくわくしてくるんだよ。



「獅子木遣りにさんかした」女の子のお話

練習はとてもきびしいけど、やってみてとても達成感をもつことができました。おねえさんやおじさんたちが、わたしたちのために、とても一生けん命にいろいろなことを教えてくれました。わたしも、早くおねえさんのようなどんぶりを着て、獅子頭をかついで先頭を歩いてみたいと思いました。獅子木遣りに参加できて、とてもよかったです。





大覚寺のつつみに
行って「川除のお
地藏さん」を見つ
けたよ。瀬戸川の
つつみがこわれな
いようにとねがっ
てたてたそうだ
よ。(5)



⑥旭伝院の松(保福島)



⑤川除地藏(大覚寺)



⑦熊野神社(東小川)



⑧洞福寺の釈迦像(大島)



⑫田沼街道跡(上新田)



⑬川除地藏(相川)

「飯淵のお不動山」と言
われているそうだよ。弘
法大師が大井川を流れて
きたカヤの流木ではった
もので、大切にまつられ
ていたよ。(14)



⑭長徳寺(飯淵)



⑮波除地藏(利右衛門)



①林嬰院の鐘楼(坂本)



②法華寺の仁王門(花沢)



③やきつべの道(花沢)



④焼津神社(焼津)

法華寺には、道しるべ石や
絵馬もあったよ。(2)
花沢の里には、今でも昔の古
いたてものがのこっている
よ。(3)



②

③



⑨馬頭観音(石津)



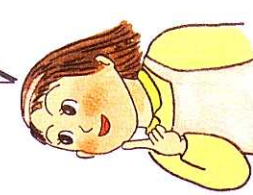
⑩水天宮(石津)



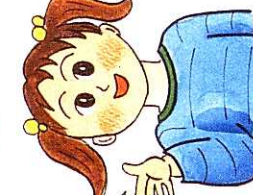
⑪学校地藏尊(田尻)

和
田
小
の
近
く
に
は
、
「
学
校
地
藏
尊
」
が
あ
っ
た
わ。
和
田
小
の
玄
関
の
近
く
か
ら
は
り
出
さ
れ
た
お
地
藏
さ
ん
よ。
(11)

藤守の田遊びさんは
昔から受けつがれた
祭りなので、人々の
思いがこもっている
んだらうね。



「波除地藏」は、海の
安全をいのるために祭
られているお地藏さん
だそうよ。昔から漁師
さんのねがいがこめ
られていたそうよ。



⑫田沼道跡(上新田) ⑬川除地蔵(相川)

「飯淵のお不動山」と言われているそうだよ。弘法大師が大井川を流れたきたカヤの流木で造ったもので、大切にまわっていたよだよ。(14)

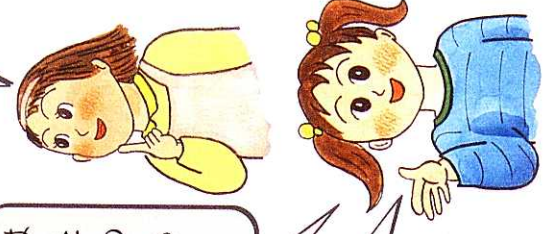


⑩水天宮(石津) ⑪学校地蔵尊(田尻)

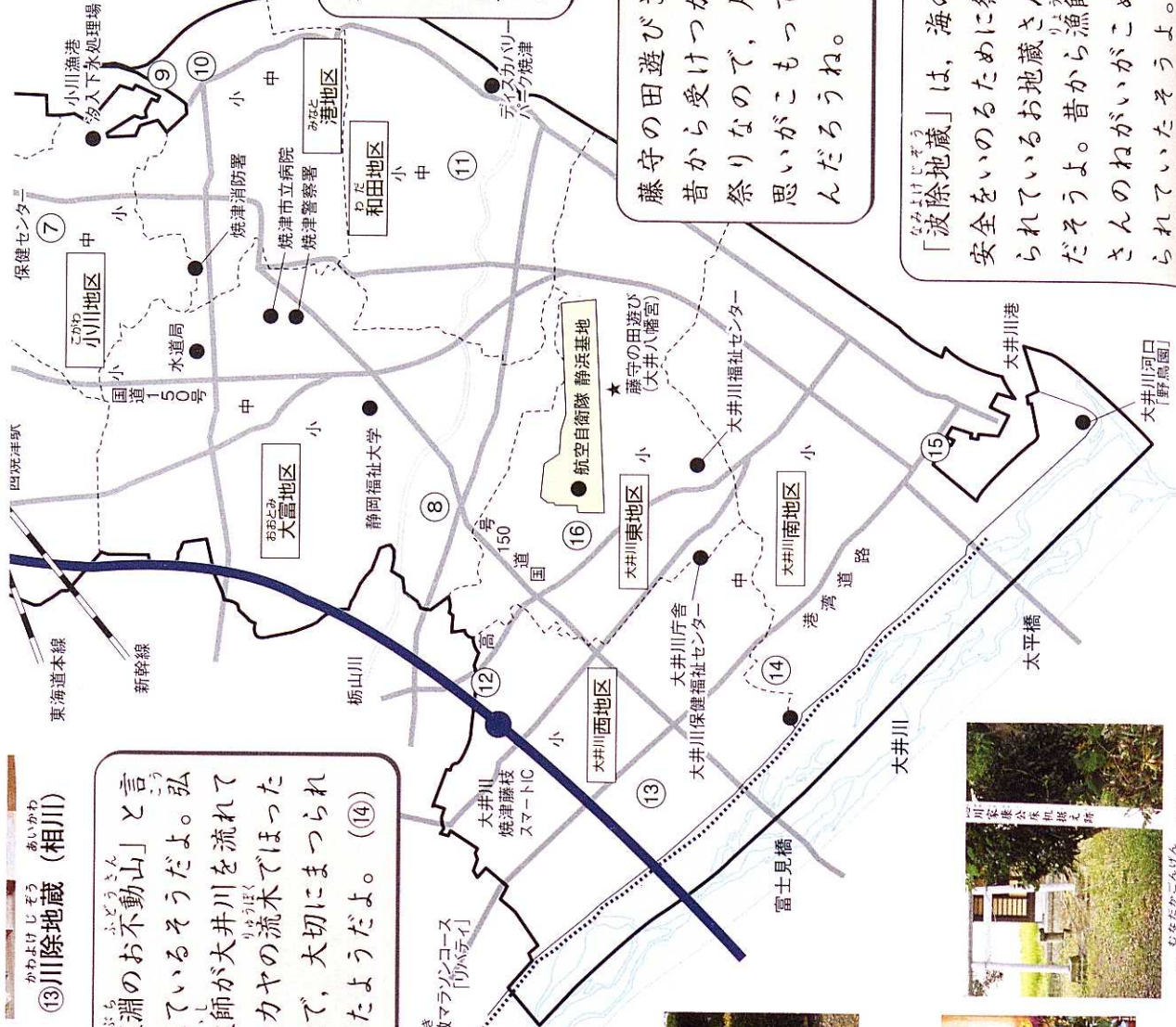


和田小の近くには、「学校地蔵尊」があるたわ。和田小の玄関の近くからほり出されたお地蔵さんよ。(11)

藤守の田遊びさんが昔から受けつがれた祭りなので、人々の思いがこもっているんだらうね。



「波除地蔵」は、海を安全にするために祭られているお地蔵さんだよ。昔から漁師さんのねがいがこめられていたそうよ。



⑭長徳寺(飯淵)



⑮波除地蔵(利右衛門)



(2) 焼津の年中行事

わたしたちの住む焼津市には、一年間をとおして様々な年中行事があります。どのようなものがあるか調べてみましょう。

【焼津市の主な年中行事】

月	行事
2月	山の神祭り 虚空蔵尊大祭(だるま市)
3月	藤守の田遊び
4月	桜祭り 焼津みなと祭り
7月	海開き
8月	荒祭り トーロン
9月	奴道中
10月	各地区の秋祭り
11月	えびす講市



田尻のトーロン



えびす講市

これからも焼津の大事な年中行事が受けつがれていくためにわたしたちにできることを考えてみましょう。

年中行事には、それぞれどんな人たちのどんな願いがこめられているのだろう。

年中行事を受けついでいくために、どんな工夫や努力をしているのかな。



しゃんていきょう いっばんしゃんたんほうじん
 (写真提供: 一般社団法人 焼津市観光協会等)